



Juju Information Vol.68

Juju(こと、野田樹潤)

スーパーフォーミュラ 第3ラウンド 宮城・スポーツランドSUGO

初のコース、目を見張るプラクティス、予選での走行に、関係者も“Good Job!”。決勝レースは一転雨。再三の中断を経て14周で終了。Juju、不完全燃焼の18位。

Juju (こと野田樹潤 NODAレーシング所属) は、6月21日(金) -23日(日)、宮城県・スポーツランドSUGOで開催されたSUPER FORMULA 第3ラウンドに出場しました。

2週間前のBOSS GP 第3ラウンド(オーストリア)で今季初優勝して迎えた今大会は、フリープラクティス、予選は、車両のトラブルもなく、チームとの連携も十分。初のコースで、目を見張る走行に関係者も「いい走りだ!」と称賛。準備万端で初挑戦となるSUGOでの決勝に臨みました。

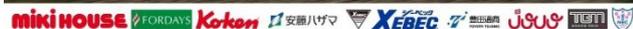


しかし、23日(日)は、朝から雨。午後の決勝は、さらに雨脚が強くなり、濃い霧も立ち込める最悪のコンディション。Jujuは、最後方20番グリッド。スタート前のウォームアップ走行直後に他車の事故が発生。レーススタート後に再び事故がおき、再度の中断。主催者は、レース続行が危険と判断し、レース終了を宣言しました。



18位でレースを終了したJujuは、「昨日の流れから、できればドライで走り、更なる進化を確認したかった。ただ雨も経験値で言うと自分にとっては大切な機会。」と、不完全燃焼で終わったレースを振り返りました。

フリープラクティスでのマシントラブルの影響で納得の走りができなかったオートポリスでの第2ラウンドと比べ、今大会のJujuは、マシントラブルもなく、また、チームとのコミュニケーションも向上。予選前のプラクティス走行では、1周のトップタイムが1分6秒1に対して、Jujuは1分8秒9。さらに、



予選では1分6秒0のトップに対して Juju は1分7秒4 と大きく前進し、着実にタイムを縮めていきます。まだまだ、走れば走るほどタイムを縮めることができるという“伸び代”を実感させる走り、あと0.5秒縮めることができれば、さらに5ポジションを上げられるほどの接戦でした。

それでも Juju は、自身にとって初めての SUGO でのレースに「マシンとサーキットの両方に慣れるのに、90分のフリー走行だけで力を出し切れるほど、まだ自分の能力は追いついていません。マシンのセットもまだまだ詰められるところはあるし、自分のドライビングでもまだまだ（タイムは）詰められる。その中で予選でも現状できる事は、精一杯やったと思う。しっかりエンジニアと話し合っ、マシンとドライビングの両方で明日の決勝に向けて進めたいと思う。」と、控えめながらもどん欲なまでに決勝レースへの意気込みを見せます。

翌23日（日）は雨模様という予報を聞いた Juju は、「調子は上向きで流れも良くなりつつあるので、安定したコンディションで走りたいですね。でも、SUPER FORMULA では初のウェットレースを経験する事になるかもしれませんね。これも別の課題を与えられたと思って、しっかり走り切ろうと思います」と、気を引き締めていました。

23日（日）決勝レース。予報通り雨。それに加えて霧も酷い状況。「昨日の流れから、できればドライで走り、更なる進化を確認したかった。ただ雨も経験値で言うと、自分にとっては大切な機会。前向きに捉えて走る事を楽しみにしていた。」と、Juju。

ところがその雨が強くなり、霧までも出始めてしまいまともに走れる状況ではなくなります。午前のフリープラクティスでは、開始早々クラッシュやコースアウトする車両が出て、セーフティ・カーが導入。その直後には、赤旗提示で中断、そのままフリープラクティスは終了。



mikiHOUSE FORDAYS Kokon 安藤ハヤマ XEBEC 富士スピードウェイ JUSU TST

決勝も、状況は変わらず。スタート直前のウオームアップ走行で事故が発生し、スタートは2時間余り遅れることに。霧は晴れましたが雨の中のレースは、セーフティ・カーに先導される形でスタートを切ったものの、まともに走れない状況。しかし、まもなく、再びセーフティ・カーが導入。そして、14周目に再び事故が発生し、レースはそのまま終了しました。

「何かすっきりしない決勝レースでした。天候だけはどうしようもないけど、やっぱり走りたかったというのが本音。サーキットまで足を運んでレースを楽しみに来てくださったお客様は、雨の中とても寒かったでしょうし、ずっと待たされ続けて辛い1日だったと思います。良いレースをお見せできずに、申し訳ない気持ちで一杯です。ごめんなさい。」と Juju。



mikiHOUSE FORDAYS Kokon 安藤ハヤマ XEBEC 富士スピードウェイ JUSU TST

土曜日のフリープラクティスと予選では、ベテランのチームメイトのベストタイムに0.2秒にまで迫るパフォーマンスを見せていた Juju は、「周回を重ねるごとにレベルアップしていく事ができました。それでも、予選はまだまだタイムアップさせられる要素があったので、嬉しいやら悔しいやら。次は、富士スピードウェイで、7月上旬に合同テストがあります。レースカーで、大会で走るコースを走ることができる貴重な機会。楽しみです。」と、目を輝かせていました。

一方、Juju が乗っている TGM Grand Prix のレース車両は、チームメイトの車両とも、大分・オートポリスでの第2ラウンド、今回の SUGO での第3ラウンドともタイムが伸びず苦戦を強いられる状況となっています。今、チームのエンジニア、メカニックらが一丸となってその対応に向けた車両の開発にあたっています。富士での合同テスト、そして、7月の第4ラウンドに向けて対策を進めており、Juju のモチベーションアップにあわせて、次戦に注目ください。

この件に関するお問い合わせ先：NODA RACING 広報担当 石川
e-mail t.ishikawa@noda-racing-academy.org Mobile 090-8940-1683
岡山・美作事務局 担当 須田
Tel.0868-75-3283/Mob.090-5128-3064 mail k.suda@noda-racing-consultans.biz